

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 見立作成日: 令和元年9月4日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	同法人のデイサービスの行事に参加し、地域の老人会との交流は行っているが、日常的な地域交流が出来るよう取り組んでいく。	区長の協力を得て、地域の情報を把握して、行事や活動に参加したり、ホームの行事に地域の方やボランティアが参加できるように工夫する等、地域との信頼関係を築いていく。	12ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	家族の面会時にコミュニケーションを取りながら、家族の意見や要望を聴き取っているが、運営推進会議にも家族の参加を促したり、ホームの行事に家族を招く等、関わりを増やし、より家族の意見を反映できるよう取り組んでいく。	家族と職員がコミュニケーションを取りながら、何でも話し合える関係を築き、行事等に参加や協力を要請して、家族や利用者が楽しく過ごせる時間を設けていく。また、ホーム便りを定期的に作成して家族に送付し、利用者の暮らしぶり、ホームの取り組等を発信していく。	12ヶ月
3					ヶ月
					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。